

貸借対照表

2026年3月31日現在

株式会社アイエーマネジメントサービス

第15期

(単位:千円)

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
流動資産	312,686	流動負債	39,345
現金及び預金	112,384	買掛金	12,484
売掛金	30,184	未払金	1,128
前払費用	9,717	未払費用	4,773
短期貸付金	160,000	未払法人税等	9,786
未収入金	342	預り金	366
その他	57	賞与引当金	6,926
		その他	3,878
固定資産	52,712	固定負債	21,416
有形固定資産	37,849	退職給付引当金	21,416
建物	256		
機械及び装置	1,177		
車輛運搬具	35,081		
工具器具備品	1,334		
		負債合計	60,761
		純資産の部	
投資その他の資産	14,862	株主資本	304,637
繰延税金資産	11,168	資本金	10,000
その他	3,693	利益剰余金	294,637
		利益準備金	1,558
		その他利益剰余金	293,079
		繰越利益剰余金	293,079
		純資産合計	304,637
資産合計	365,399	負債純資産合計	365,399

個別注記表

1. 会計方針に関する事項

① 重要な減価償却資産の減価償却の方法

イ 有形固定資産

建物、車両運搬具

定額法

機械装置、工具器具備品

定率法

耐用年数は、次の通りであります。

建物 10年

機械装置 15年

車両運搬具 2～6年

工具器具備品 15年

② 重要な引当金の計上基準

イ 賞与引当金

従業員の賞与支給に備えるため、賞与支給見込額のうち当事業年度に負担すべき額を計上しております。

ハ 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。

なお、退職給付債務の計算に、退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しております。

③ 重要な収益及び費用の計上基準

当社の顧客との契約から生じる収益に関する主要な事業における主な履行義務の内容及び当該履行義務を充足する通常の時点（収益を認識する通常の時点）は以下の通りであります。取引の対価は履行義務を充足してから主として1年内以内に受領しているため、重要な金融要素は含んでおりません。また、対価の金額が変動しうる重要な変動対価はありません。

提携企業の店舗指導・支援およびコンサルティング業務を行っております。対象となるサービスが完了した時点で履行義務が充足されると判断し、サービス完了時点で収益を認識しております。

2. 当期純利益

当期純利益は、31,594千円であります。